

健やかなまちづくりのために

健康の駅のご案内



健康の駅推進機構

目次

健康の駅とは.....	2
健康の駅ってどんなところ？.....	2
健康の駅ができるまで.....	3
健康の駅になるためには.....	5
健康の駅のシンボルマーク.....	6
健康の駅（例）の紹介.....	7
健康の駅推進機構の概要.....	13

健康の駅とは

● __健康の駅ってどんなところ？

健康のまちづくりをリードする健康交流拠点

健康の駅は、集まる人たちが自由に交流できる健康交流拠点(サロン)で、高齢者の介護予防から子どもの食育活動まで様々な活動が行われています。今、全国の自治体や健康産業に関連する企業が、「健康の駅」の取り組みに賛同し始めています。なぜならば、地域住民の健康を守るためには、安心して安全な情報発信の仕組みづくりが重要で、それには人と人のコミュニケーションで元気になる取り組みが一番だからです。

地域住民が健康の駅で医療福祉や健康増進のスペシャリスト、経験者等と交流し、信頼関係を築くことができれば、人々はより安心して健康生活を送れるようになるでしょう。

多様な交流拠点のネットワーク「まちの駅」の仲間

健康の駅は、まちの駅の仲間です。まちの駅は元気で我が町が大好きな人が集まる「たまり場」をネットワークする取り組みで、それぞれの特色を表した自由な名称をつけることができます。川の近くであれば「川の駅」、農場であれば「農の駅」と名付けることができます。これらの駅を総称してまちの駅といいます。現在、全国に約1400カ所のまちの駅があります。その中で医療福祉施設、市町村の保健サービス施設のほか、健康増進に関わる活動をしている企業、団体、個人が参加しているのが健康の駅です。

健康の駅は他のテーマのまちの駅(川の駅、農の駅等)と連携したさまざまな企画を行うことも、その魅力のひとつです。他のまちの駅の行う企画に「医療」「健康」「福祉」の視点でアドバイスを行っていくことも健康の駅の大切な役割です。

さらに健康の駅同士で協力、連携することを通して、様々な健康増進手法に関わる知識、情報を集積するとともに、健康維持増進に関わる諸活動を実践していきます。

健康の駅は認証登録制です。

健康の駅は、健康のまちづくりをリードする施設であるとして、健康の駅推進機構により認証された施設です。

● 健康の駅ができるまで

健康の駅の取り組みは、国・自治体・民間企業・医療福祉の専門家・NPO が協力して検討を重ねて来ました。行政側のニーズと住民側のニーズを共に満たす可能性を持つ「健康の駅」は、健康なまちづくりの仕組みとして各方面から注目されています。

平成 13 年度

健康の駅を考える会

医療福祉健康関係者、市町村関係者、国関係者等の有志で「健康の駅を考える会」を組織し、健康の駅についての検討を重ねました。本会で、健康の駅の目的、条件、活動内容等を整理し、取り組みの足がかりをつくって来ました。

平成 14 年度

医療福祉連携 共同研究プロジェクト

健康の駅の設置に積極的な医療福祉施設及び自治体により「医療福祉連携共同研究プロジェクト」を立ち上げ、全体研究会、現地見学会、現地勉強会等を通じ、健康の駅についての検討を深めました。「健康の駅を考える会」が本研究会のアドバイザーでした。

提言・実践首長会 医療福祉部会

全国の有志首長の組織である「提言実践首長会 医療福祉部会」において、開かれた医療を目指す健康の駅の設置・運営等、自治体としての取り組みについて検討を重ねました。

健康サロン(交流会)

交流サロン SHU (東京都港区) で、健康の駅について考える勉強会がはじまりました。医療福祉や健康の専門家をお招きして話をうかがい、健康の駅の立ち上げの参考にするとともに、協力してくださる方を募りました。

平成 15 年度

提言・実践首長会 医療福祉部会

「健康増進行政に関する提言 一開かれた医療・福祉施設、健康の駅の提案一」「介護給付適正化に向けた連携方調査研究活動(案)」を国に提出しました。健康の駅の設置・運営を目指した自治体が、立ち上げに向けた具体的な検討を始めました。

提言・実践首長会による「健康の駅実践プロジェクト」の提案

提言・実践首長会のメンバー市町村に対して、健康の駅のモデルづくりのための、有志市町村長の共同検討会を行うことを提案しました。

平成16年度

提言実践首長会 医療福祉部会

厚生労働省介護予防モデル事業の実施を検討しました。各市町村の介護予防ならびに、健康増進の施策について情報交換をしました。

健康の駅実践プロジェクトの発足

9市町村が参加し、連携型の健康増進事業・介護予防事業を次年度以降に実施することを目的とした共同研究を始めました。

平成17年度

健康の駅推進機構立ち上げフォーラム

健康の駅推進機構発足記念シンポジウムを開催しました。

このころから健康の駅は、徐々に自治体や医療福祉施設、民間企業の関心を集めるようになりました。そこで、さらに活動を広め、深めることを目的に、健康の駅推進機構を立ち上げました。

平成18年度

岐阜県白川町で健康の駅の取り組みが都市再生モデル調査採択

岐阜県白川町の提案が全国都市再生モデル調査に採択され、白川病院を中心に健康の駅の社会実験を行いました。白川町では、スポーツスパランド（日帰り温泉施設）など町内の既存施設を有効に活用して、健康なまちづくりを目指した取り組みが始まっています。

健康の駅推進機構が正式に発足

健康の駅の認証機関として、健康の駅推進機構の体制が整ったことから、正式発足のフォーラムを開催しました。

平成19年度

健康の駅の認証が始まりました

地域の健康をリードする拠点として、全国で9カ所の施設が健康の駅の認証されました。

健やか生活習慣国民運動に参画します

厚生労働省が進める、健やか生活習慣国民運動に参画します。

● 健康の駅になるためには？

健康の駅の名前は、地域の健康をリードする拠点施設である証です。下記の要件を満たして、健康の駅推進機構の認証を受けることが必要です。

1. まちの駅の設置条件を満たす

健康の駅はまちの駅の1つの形です。健康の駅に認証されるとまちの駅として登録されます。まちの駅は、住みよいまちづくりのために、人と人の出会いと交流をサポートする情報発信拠点です。その中で、健康なまちづくりを目指す施設が健康の駅となります。まちの駅を設置するために必要な条件は次の4つです。

(1) 地域の情報を説明する案内人(駅長)がいること。

まちの駅は、①人と情報が集まる場所、②周囲の他の施設(駅)と協力し合う場所です。ですから、地域の情報に詳しく、人の出会いと交流をサポートする案内人(駅長)が必要です。

健康の駅には、このほかに安全で安心できる健康に関する取り組みや情報について伝える説明人が必要です。(駅長が兼ねる場合もあります)

(2) トイレと休憩場所を開放していること。

まちの駅は、誰でも気軽に立ち寄って利用できる場所です。トイレと休憩場所を解放する必要があります。

(3) まちの情報があること。

まちの駅は規模や運営形態にかかわらず、元気なまちづくりを志す人たちが集まる場所です。まちの元気を周囲に伝えるために、業種の壁を越えた人と情報の交流を積極的にはかります。

(4) 健康の駅(まちの駅)の看板を掲げること

利用者に、健康の駅認証施設であることがわかりやすい場所に、健康の駅(まちの駅)の看板を掲示していただきます。シンボルマークの使用については、「健康の駅シンボルマーク・看板設置マニュアル」を参照ください。

健康の駅はまちの駅の1つの形であることを表すために、左：健康の駅のマークの中に、右：まちの駅のマークが描かれています。



2. 健康維持増進を主目的のひとつとして活動し、提供されるサービスと情報が健康づくりに有効という根拠（エビデンス）がある。

健康の駅は、地域に安全で効果的な健康情報を提供する拠点として重要な役割を担います。誰でも安心して利用できるように、確かな根拠に基づいたサービスと情報を提供します。

3. 健康の駅の活動に関わる説明情報が開示されている。

誰でも気軽に利用できるように、健康の駅とは何を目的として、どのようなサービスを提供する施設なのか、わかりやすく説明された資料等の設置が必要です。

4. 医療・福祉施設および団体または自治体との協力体制がある。

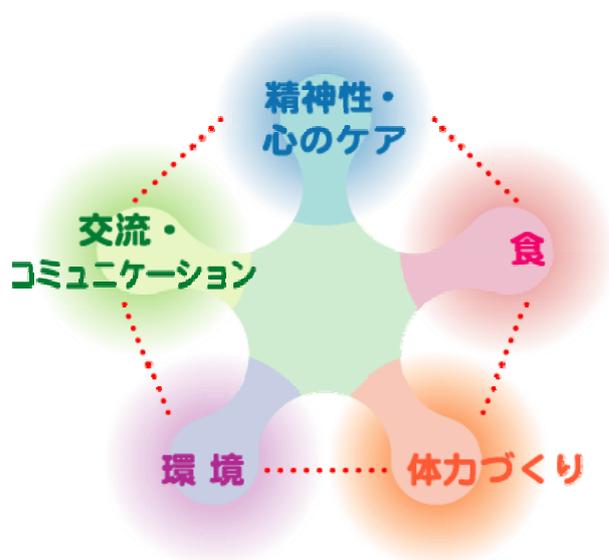
健康の駅は、医療福祉に関する専門サービスおよび情報を提供する場所ですから、同一地域の医療福祉施設と常に連携をとりながら活動します。

また、健康の駅は公益活動を担う施設ですから、自治体との連携があることが望ましいです。

健康の駅のマーク

健康を支える5つの要素を元気な人の形に表現しました。

健康の駅はまちの駅の仲間です。下段にまちの駅のマークを添えました。



健康の駅(例)の紹介

健康の駅よこて

秋田県横手市

1

実施主体	秋田県横手市 福祉環境部 健康の駅推進室
所在地	秋田県横手市横山町 3-12
連絡先	TEL：0182-35-2127 FAX：0182-35-6374
ホームページ	http://www.city.yokote.lg.jp/kakuka/kenkounoeki/kenkounoeki.jsp

施設の概要

機能別に、大規模駅(ホームステーション)・中規模駅(公民館単位)・小規模駅(町内会単位)の3段階からなる。

大規模駅(健康の駅トレーニングセンター)は市中心部の高齢者福祉施設「すこやか横手」の一角を借り受け、理学療法士・保健師・健康運動指導士などのスタッフが、生活習慣病予防・要介護認定になる前の介護予防など健康運動を中心とした健康づくり事業を行っている。

小規模駅は、自由な交通手段を持たない高齢者でも気軽に取り組めるよう、地域の町内会館などを利用し、地域住民が自主的に集まり、健康運動を中心とした健康づくりに取り組んでおり、運動指導・簡易な体力測定などといった形で健康の駅推進室がサポートをしている。

中規模駅は公民館や小学校跡地等を利用し、複数の小規模駅の合同での活動や、広いスペースを必要とする健康づくり活動の場として、また大規模駅と小規模駅を仲介する駅としての機能を持つ。

最終的には、健康づくり活動を礎とした地域活性化を目的としていく。



健康 menu

●健康の駅トレーニングセンター事業

健康の駅トレーニングセンターにおいて、高齢者健康づくり(シニアパワーアップ教室)や中高年層の生活習慣表予防(生活習慣改善教室)を目的とした教室を一定(1クール2ヶ月間程度)の期間行っている。

高校生以上に日常的に健康運動へ取り組む場の提供(フリートレーニング)を、基本的には上限無く、一部の時間は年齢などタイプ別に分けながら行っている。運動経験のない市民でも気軽に取り組めるよう基本的な運動指導や運動メニューの作成について相談にのっている。また、日常生活習慣改善の相談や健康相談にも応じている。

●小規模駅活動(地域型健康の駅)

週1回や月2~3回など活動頻度は様々。主に、地域の集会場(町内会館)などに集まり、健康運動を中心とした健康づくりに自主的に取り組んでいる。運動指導や簡易体力測定なども行い、運動効果を利用者へ還元している。現在16の地域で活動中。

●中規模駅

現在、小学校跡地などでモデル試行中。

(下左図 大規模駅 下右図 小規模駅)



まちの駅 健康の駅	ネーブルみつけ	新潟県見附市	2
実施主体	新潟県見附市健康福祉課いきいき健康係		
所在地	新潟県見附市学校町1丁目16番15号		
連絡先	TEL：0258-62-7801 FAX：0258-62-7810		
ホームページ	http://www.city.mitsuke.niigata.jp/ctg/330110/330110.html		
<p>施設の概要</p> <p>まちの駅ネーブルみつけは、旧ショッピングセンターを見附市が買い取り、まちの駅として再開発した施設である。施設内に「健康づくりコーナー健康の駅」が併設され、若い方から高齢者まで、個別にプログラムされた健康運動メニューを楽しんでいる。開設当初から、(株)つくばウエルネスリサーチのE-Welnessシステムを導入し、健康データの集積に取り組んできた。高齢者に対する筋カトレーニングが介護予防に効果的であるとの実証データが出ている。</p> <p>ネーブルみつけには、健康づくりコーナーの他に、健康野菜やお菓子、見附名産のニット製品などを販売する売店があり、買い物を楽しむことができる。友人とおしゃべりできる喫茶店もある。このほか、誰でも参加できるイベントが各種開催されていて、楽しい演出がいっぱいだ。「ネーブルみつけに来ればかならず誰かがいて楽しい時間が過ごせる」という、「まちの駅」ならではの交流機能が高く評価されている。</p> <p>平成16年の大水害、中越地震の時には、救援物資の供給所兼ボランティアセンターとなり、震災後の相談業務もここで行われた。まちづくりの拠点である「まちの駅」ならではのエピソードといえる。</p> <p>(下左図 トレーニング風景)</p>	<p>健康 menu</p> <p>●健康運動教室</p> <p>産官学連携（筑波大学・(株)筑波ウエルネスリサーチ）により、参加者ひとりひとりの体力に合わせた科学的根拠に基づいた運動プログラムと日々の体組成等の変化情報を、ITを駆使して提供するとともに、運動継続の評価を毎月、体力の評価を6ヵ月毎におこなう。</p> <p>参加者は、教室終了後も教室と同様の枠組みで継続実施する。継続参加者は約1100人ほど。継続実施者の体力年齢は10歳以上若返っている。</p> <p>●未来市場：健康野菜の会</p> <p>都道府県認定のエコファーマーが減農薬・減科学肥料で栽培した取れたて野菜を販売している。収穫交流イベントを開催することで消費者との交流も行うなど、ふれあいを大切にしている。</p> <p>値札に、生産者の住所・氏名・電話番号・顔イラストを明記して、消費者が安心して購入できるよう工夫している。顔イラストはどれもよく似ていてユーモラスだ。</p> <p>平成18年、新潟県環境保全型農業推進コンクールで最終週の県知事賞を受賞。全国大会で優秀賞を受賞した。</p> <p>(下右図 交流スペース、売店もある)</p>		
			

健康の駅 ながおか	新潟県長岡市	3
------------------	--------	---

実施主体	社会福祉法人長岡福祉協会 高齢者総合ケアセンター こぶし園
所在地	新潟県長岡市信濃2丁目6番18号
連絡先	TEL：0258-31-7700 FAX：0258-31-7717
ホームページ	http://www6.ocn.ne.jp/~kenkoh-n/

施設の概要

介護予防からフルタイムのサービスまで、すべてのニーズを包み込むステーション。

通所介護事業 訪問介護・訪問介護サービス 在宅介護支援センター・居宅介護支援事業所 配食サービス 医療サービス（診療所） ケアハウス

高齢者センターしなのでは、およそ110畳を誇る大型交流スペース。カラオケや談笑、食事や休息の場として利用ができる。

- ・静かでゆっくりくつろげる部屋があり、友達と談笑したり囲碁や将棋ができる。
- ・ジェットバスをはじめ打たせ湯、歩行湯、露天風呂等の開放的な4種類の風呂がある。
- ・マッサージルーム適度な指圧で刺激を与え、体も心もリラックスできる。
- ・健康増進・談話コーナーで毎日の血圧測定や健康、予防管理などの情報が得られる。

健康 menu

●地域交流スペースを活用した機能

●予防センター機能→健康増進・介護予防

- 1) フィットネスクラブ
健康増進のための会員制のクラブとして「つくばウェルネスリサーチ」と提携した健康増進活動メニューを提供している。
- 2) 介護者健康クラブ
在宅で介護をされている方々を対象に、高齢者センターでリフレッシュしていただき、合わせて腰痛予防体操や介護教室を開催して、在宅介護者自身の健康を守ることと介護の知識と技術をご提供している。
- 3) 介護予防クラブ
介護保険改正により新設。新予防給付対象者に対し、介護予防事業（筋トレ・口腔ケア・栄養マネジメント）を実施している。
- 4) 機能訓練クラブ

●地域交流センター機能
→各種講座ボランティア講座等

●健康ライブラリー機能
健康に関する書籍やパソコンにより、様々な情報を提供できるライブラリーを開設、高齢者だけではなく、地域社会の全ての皆様が利用できる機関を目指している。

(左図 施設全景)
(下左図 健康ライブラリー)
(下右図 予防センターの活動)



岡山旭東病院		岡山県岡山市	4
情報コーナー健康の駅			

実施主体	岡山旭東病院「情報コーナー健康の駅」		
所在地	岡山県岡山市倉田 567-1		
連絡先	TEL：086-276-3231 FAX：086-274-1028		
ホームページ	http://www.kyokuto.or.jp/		

施設の概要

脳神経運動器疾患の専門病院として専門性を追求すると同時に、「癒しの環境」をソフト、ハードともに設備している。「病院は診療・治療を行うだけでなく、健康を応援し生活の質の向上を目指すところ」であるとして、地域住民の健康増進に積極的に取り組んでいる。その取り組みのひとつとして、院内に情報コーナー「健康の駅」を設置して、情報発信と利用者の交流促進を図っている。展示スペースは、患者様のアート作品の展示や、授産施設でつくられたクッキーをボランティアの方々が販売するなど、多目的に利用できるスペース。食育に関する情報掲示を行うなど、定期的に健康情報の発信に努めている。その他、書籍・リーフレット等については、健康をテーマにカテゴリ別に配置して紹介している。「生活習慣病」「福祉関連」「てんかん」「パーキンソン病」など岡山旭東病院の専門である脳神経外科と関連の深い病気の資料をはじめ、趣味の図書なども配置している。他院のパンフレットや書籍・リーフレットは利用者様に手にとっていただきやすいように、定期的に見直し、入れ替えをおこなっている。パソコンも設置され、自由に閲覧できる。

(下左図 情報コーナー健康の駅)



健康 menu

●園芸福祉

医療環境の中では花や木が人の心を慰める。設

立以来、木や花の溢れる病院を目指し、岡山市高遠協会主催の「花いっぱいコンクール」と岡山県コミュニティ協会主催の「第25回岡山県花いっぱいコンクール」「第41回全国花いっぱいコンクール」にも応募。優秀賞を受賞している。

●道化教室の開催

「笑いやユーモアは人の心を癒し、健康にする」これは一昨年に岡山へ招待した Dr. パッチ・アダムスの言葉。このメッセージを広げていこうと2002年11月から「おかやまあかいはな道化教室」がスタートしている。

●「パッチアダムスホール」

院内に、医療に笑いとユーモアを取り入れた、アメリカの医師パッチ・アダムスの名前を冠した多目的ホールがあり、院内の催事はもちろん、ふれあいフェスティバルやコンサート等で地域の方に広く親しまれている。

●展示スペースを地域へ開放

地元医療福祉大学の卒業制作展の様子。(下右図 展示スペース)



健康の駅 健味健食園		熊本県上益城郡益城町	5
実施主体	特別医療法人 ましき会 「健味健食園」		
所在地	熊本県上益城郡益城町惣領 1530 番地		
連絡先	TEL：096-286-3611 FAX：096-286-8145		
ホームページ	http://www.mashiki.jp/sisetu/kensyokuen/index.html		
<p>施設の概要</p> <p>健味健食園は、(医)ましき会が設置・運営する就労継続支援事業所。益城病院とレストラン「大河」、パン工房「まりも」、農場「グリーンサム」の3つの施設が共同・連携して、健康講座の開催や、コンサート・スポーツ・健康相談等を行っている。</p>	<p>●「グリーン・サム」</p> <p>病院畑を利用して、土やみどりに触れたり、安全で体にやさしい農産物(小麦・野菜・ハーブ類等)や花を生産し、レストラン「大河」やパン工房「まりも」に食材料の供給等を行います。また、グラウンドゴルフ場の運営等を通じ、地域の健康づくりはもとより、高齢の方々との交流・健康作りにも貢献します。</p>		
<p>健康 menu</p> <p>●レストラン「大河」</p> <p>病院施設らしく「医食同源」「地産地消」「有機無(減)農薬の一部導入」等、安全でおいしくて体にやさしい食事・弁当の提供や治療食を提供します。また、漢方医の宮本医師の指導のもと、予防医療の観点から、食を通じ、或いは養生を通じて健康を維持するための研究を行い、健康づくり情報の発信基地としての機能を果たします。</p> <p>来店者は、スタッフや来店者同士と気軽に健康維持・健康増進に係る相談を行い、スタッフとの打ち合わせの上、具体的な実践を行うことができます。また、血圧や体重測定等、簡易な健康チェックを行うことができます。</p>	<p>●「パン工房まりも」</p> <p>パン工房開始後10年余の蓄積を生かし、より安全でよりおいしく、より健康的なパンを提供します。一部には、病院畑で収穫された野菜や小麦を利用し、安全・安心の満足を提供します。</p> <p>来店者は、スタッフや来店者同士と気軽に健康維持・健康増進に係る相談を行い、スタッフとの打ち合わせの上、具体的な実践を行うことができます。</p> <p>(下左図 パン工房まりものできたてパン) (下右図 レストラン大河のウェルビランチ。)</p>		
			

実施主体	NPO 法人花の情景研究所
所在地	群馬県群馬郡倉渕村大字水沼 69-1
連絡先	TEL：027-378-3310 FAX：027-378-3310
ホームページ	http://www1.ocn.ne.jp/~flower-v/

施設の概要

「園芸福祉の里」は、花やハーブなど植物の生産農場であるフラワービレッジ倉渕生産組合の事業を元に、NPO 法人花の情景研究所が中心となって運営している、日本初のクラインガルテンである。

ここで行われる園芸福祉活動とは、植物と接することによってもたらされる効果を、社会の幅広い分野でいかす活動である。「園芸福祉の里」では、地域に暮らす様々な人たちが同じ立場で参加して、植物を通じた多彩な活動を展開し、一緒に楽しみ、健康で幸せな暮らしを創りだしている。

なかでも園芸福祉活動によりもたらされる健康増進効果を活用し、様々な取り組みが行われている。健康講話、自己検診、園芸作業体験、自然の中での各種体験、森林散策、そば打ちなどの体験活動のノウハウは、健康維持増進のメニューづくりの先駆けであり、全国の園芸福祉活動家の手本になっている。

都心部からの参加者向けに園芸福祉のプログラムを組み合わせた健康ツアーを企画して好評を得ている。事前事後の検診により健康増進効果を知ることができる。

- (右図 座禅道場)
- (下左図 蔓かごづくり)
- (下右図 森の音楽会)

健康 menu

●自然体験メニュー

豊かな森林と清流に囲まれた環境を活用して、森林散策、森の中で聴く音楽会などが行われている。また、自然食材による調理学習やそば打ち体験なども行われている

●成人病や生活習慣病などの予防

地域の医師による健康講話が開催されている。健康増進のための全般的知識。森林浴、温泉の上手なつかり方、歩き方のコツなどのポイントや注意点を知ることができる。

●自己検診の実施

健康増進メニューの体験前後に、血圧と脈拍、酸素飽和度を検査、THI 東大方式の健康調査票を用いた自己検診を行っている。



健康の駅推進機構の概要

1. 目的

本会は、健康の駅の設置、および健康増進活動に取り組む個人、市民団体、法人、自治体等が、地域やセクターを越えた交流活動を行い、人々の健康増進、健康で豊かなまちづくり・くにづくりに向けて、相互に協力、連携することを目的とする。

2. 事業

- ① 健康の駅の認証
- ② 全国の健康の駅設置、運営、管理に係わるルール設定等に係わる諸活動
- ③ 健康の駅に関わる情報発信、情報開示に係わる諸活動
- ④ 健康の駅どうしの交流連携に係わる諸事業の企画、運営、調整等（印刷物の共同作成、各種イベント・シンポジウム、健康に関わる物品の情報提供、人材研修等）
- ⑤ 各種実務者、専門家等の人材紹介、斡旋
- ⑥ 調査研究活動、コンサルタント事業、健康機器・サービスの共同研究等、健康の駅の発展に資する諸活動。
- ⑦ 非健康的行為等の改善に向けての啓発活動
- ⑧ その他、健康の駅発展にかかわる諸活動

3. 役員（※印は認証委員併任）

- 会 長 大倉 久直（茨城県立中央病院・名誉院長）※
副会長 久住 時男（新潟県見附市・市長）
同 石川 治江（社会福祉法人にんじんの会・代表）※
理 事 鈴木 望（静岡県磐田市・市長）
二宮 淳一（NPO 法人プロフェッショナル・ドクターズ・ネット・医師）※
野尻 真（白川病院・院長）
小山 剛（高齢者総合ケアセンターこぶし園・園長）
近藤 龍良（NPO 法人花の情景研究所・副理事長）
村山 友宏（日本ウォーキング協会・会長）
久野 譜也（筑波大学大学院・准教授）
上林 匡（社会福祉士／精神保健福祉士）※
石原 明子（日本医科大学医療管理学教室）
田中 栄治（NPO 法人地域交流センター・代表理事）
米村 洋一（NPO 法人地域交流センター・副代表）※
監 事 久武 恒夫（たちばな調剤薬局・取締役）
山本 忠順（L A U公共施設研究所・代表取締役）

4. 顧問・アドバイザー

アドバイザー

酒巻 哲夫（群馬大学付属病院医療情報部・教授）
坂本 敦司（自治医科大学地域医療学センター・教授）
近藤 克則（日本福祉大学保健福祉学科長・教授）
吉長 成恭（広島国際大学医療経営学科・教授）
小西 行郎（東京女子医科大学・教授）
小松 寛治（本荘第一病院・院長）
土井 章弘（岡山旭東病院・院長）
政安 静子（全国福祉栄養士協議会・会長）
大日向雅美（NPO 法人あい・ぼーとステーション・代表理事）

顧問弁護士 金田 絢子

弁理士 筒井 大和（筒井国際特許事務所）

特別アドバイザー

辻 哲夫（前 厚生労働省事務次官）

5. 会費

① 入会金（初年度は年会費を兼ねる）

個人、市民団体	10,000 円
法人、自治体	20,000 円

② 年会費

市民団体	10,000 円
法人、自治体	20,000 円

③ 賛助会員

個人	10,000 円（一口）
団体	20,000 円（一口）

6. 認証登録費

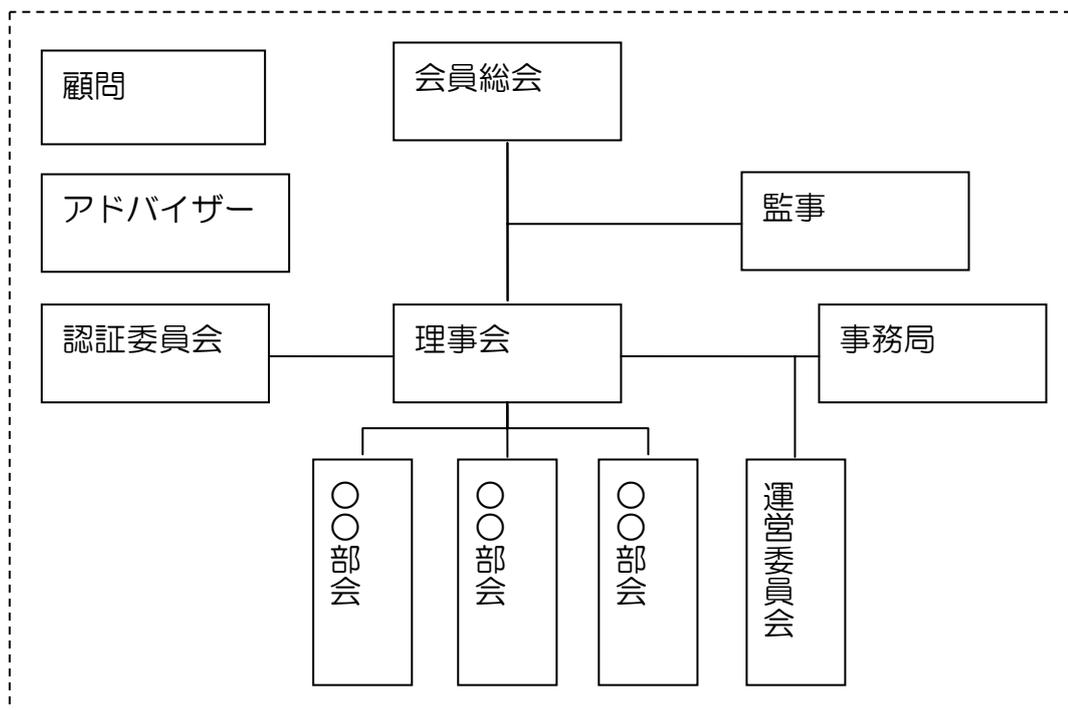
（平成 20 年 3 月登録までの暫定規則）

個人、市民団体、法人	20,000 円
自治体	80,000 円

（平成 20 年 4 月登録以降）

個人、市民団体	20,000 円
自治体、法人	80,000 円

7. 組織図



※各種部会は必要に応じ設置されます。

8. 事務局

特定非営利活動法人地域交流センター

〒105-0003 東京都港区西新橋2-1 1-5 TKK 西新橋ビル 3F

電話 03-3581-2700 FAX 03-3593-1374

URL <http://www.kenkonoeki.net/index.html>